



# 神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

## ◆箱根駅伝の予選会、母校はまさかの…◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの米山です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。



さて、私の母校は東海大学です。お正月はテレビの前で箱根を走る東海大学の選手たちを応援することが楽しみのひとつだったのですが、実は来年のお正月に関しては、その楽しみがなくなっていました。

今年のお正月に行われました第100回箱根駅伝。東海大学は10位からわずか1分10秒差で11位となり、シードを逃してしまいました。そのため、来年の箱根駅伝に出場するには、予選会を突破する必要がありました。

10月19日(土)にその予選会が行われました。東京・立川市陸上自衛隊立川駐屯地をスタートし、立川市街地を通り、国営昭和記念公園がゴールです。

私はその日、予選会が行われることは知っていたのでスマホでチェックはしていたのですが、10位までに入れば本戦出場のところ、結果は14位……。東海大学は12年連続58回目の出場を逃してしまいました。

残念に思いつつ、後日、その予選会の詳しい状況が気になり、ネットで調べてみたところ、大変なことが起きていたことを知りました。

まず、箱根駅伝の予選会というのは、各校から10~12人が出場し、ハーフマラソン(21.0975キロ)を走ります。そして、各チームの上位10人の合計タイムで争います。今回の予選会には、43校586人がエントリーしていました。

それだけの人数が一斉にスタートして始まった予選会。実は、東海大学はゴール

まで残り10メートルの地点で、チーム10番手だった外国人留学生の選手(3年生)が途中棄権をするアクシデントがあり、結果、チームは14位で予選会敗退となってしまったのですが、記事の詳細を読んで、そのときに本当に大変なことが (2枚目へ→)



(続き→) 起きていたことを知りました。

チーム9番手を走っていたその選手は残り約500メートルで急失速。残り50メートルではフラフラになり、倒れてしまいましたが、膝をついて必死にゴールを目指しました。あとから来た東海大学の別の選手がその倒れた選手を心配しながら抜いて、チーム9番目でゴール。チーム10番目となった外国人留学生在がゴールすることで、東海大の総合記録が確定します。

倒れては立ち上がり、フラフラになりながらも、チームのために懸命にゴールを目指しましたが、なんと残り10メートルで意識を失ってしまい、大会審判がその選手の競技を止めました。

その後、東海大の10番手がゴールできず、ようやく10番手が全体の396位でゴール。その間に、事実上の予選会敗退が決まってしまいました。

東海大学陸上部の監督によると、その外国人留学生の選手は意識を失っており、AEDを使用した後、近くの病院に緊急搬送。その後、意識は回復。監督は「審判に止めていただいてよかったです。10秒か20秒でも止めることが遅れたら、もっと大変なことになっていたかもしれません」と話されています。

倒れてしまった選手は病院で重度の熱中症と診断されました。意識ははっきりと取り戻し監督や駆けつけた家族と通常に会話ができる状況になり、大事に至らなかったことは不幸中の幸いだったとのこと。

ちなみに、予選会のスタートは9時35分。10時には24.2℃まで気温が上がり、体感では30℃を超え、8人も途中棄権。給水スポットは3箇所ありましたが、大混雑で、混雑時は1分間に150人も通過したと考えられています。もしかしたら、今回の選手はうまく給水できなかったのかもしれませんが。異常気象が続く中、予選会の運営方法、とくに給水に関しては選手の命を守るためにも今後の課題になるのではないかと思います。とにかく、大事に至らなくて良かったです。

■この通信がご不要の方は1枚目にお名前ご記載の上、FAXしてくださいませようよろしくお願いいたします■

## 【発行元】

 株式会社  
神奈中情報システム

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！

株式会社神奈中情報システム

〒254-0034 神奈川県平塚市宝町3番1号

平塚 MNビル11階

TEL: 0463-22-8804 FAX: 0463-22-8815

発行責任者: 神奈中情報システム



大森



米山